

施工業者様へ

オルティノ HD 施工上の注意

このたびはオルティノHDをご採用いただき、ありがとうございます。
オルティノHDの施工前に、本書をよくお読みになりまして正しくご使用ください。

施工前の確認

- 施工前に、品番及び輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。
その後の責任は負いかねますので、必ずご確認ください。
- 本製品は屋内専用です。屋外で使用しないでください。
- オルティノ HD は特殊表面加工のため、折れ目・皺によりその部分が白化する恐れがあるため
取り扱いにはご注意ください。
- オルティノ HD は特殊表面加工のため、物が接触すると物の表面を削り取り損傷を与えることがあります。
- 耐擦り傷性を向上した製品ですが、全く傷が付かないというわけではございません。
- 爪やスキージーなどでフィルム表面をこすると、それらが削れるなどしてフィルム表面に汚れが付着して、
白い傷のように見える場合がありますが、水拭きすることで清掃することが可能です。
- 3次元曲面への施工は避けてください。表面が白化する恐れがございます。
- 施工する際は施工面だけでなく、床面の清掃も行い、必要に応じて防塵対策を行ってください。
オルティノ HD と施工面の間に異物が入るとフクレ等の原因となります。
- 耐擦り傷性を向上した製品ですが、表面の付着物によっては傷がつく可能性がありますので、
乾拭きなどお手入れの際はご注意ください。
- 硬い布や有機溶剤は表面を傷つけたり変質したりする場合があるので使用しないでください。
- オルティノ HD は特殊表面加工のため、同柄のオルティノとは艶・色調が異なります。

施工時の温度調整

- 寒冷地などの下地の温度が低い場合、接着しにくいことがありますので、オルティノ・施工下地の温度を
10℃以上にし、施工してください。冬季、及び寒冷地での施工は特に注意してください。

下地調整

- 下地を平滑に仕上げるのが、貼り上がりを美しく仕上げるポイントとなります。
- 下地調整の方法は下地基材の材質・状態によって異なります。
【基材別下地調整】を参照いただき、下地基材にあった下地処理を行ってください。
- 下地に湿気があると貼り付けができません。十分乾燥した後、施工してください。
- ポリエチレン、ポリプロピレン、シリコン樹脂、フッ素樹脂下地への施工はフクレ・ハガレの恐れがありますので、
施工しないでください。

【パテ処理】

- 基材のへこみ部分、継ぎ目部分はパテ処理を行い平滑に仕上げてください。
- 使用するパテは基材との密着性に優れ、肉やセが少ないものを使用してください。
- パテを使用する場合は、できるだけ基材の色調に近い物を使用してください。
柄によっては下地の色が貼り上がり外観に影響する場合があります。

【プライマー処理】

- 垂れたり流れたりしない塗布量で均一に一度塗りして下さい。
- 標準塗布量 RA-910 30～50g/m² (水で3～4倍に希釈)
RQ-900P 30～70g/m² (原液)
- 繰り返して塗布すると不燃認定の条件を外れる場合があります。
防火の内装制限を受ける部位には標準塗布量を守って塗布してください。
- オルティノフィルム貼付けは、プライマー乾燥後行ってください。

【基材別下地調整】

本表は、施工時の下地調整方法を推奨するものであり、下地の適性を保証するものではありません。

	ラワンベニヤ シナベニヤ MDF	せっこうボード 珪酸カルシウム板	モルタル	塩ビ鋼板 重ね貼り	メラミン化粧板 ポリエステル化粧板※1 アクリル板※1	亜鉛メッキ鋼板 アルミニウム ステンレス	ガラス ※2
前処理	釘頭処理		金ゴテ仕上げ 乾燥状態の確認	表面確認	表面確認 釘頭処理	サビ、異物の除去	-
パテ処理	粉体パテ			ポリパテ	粉体パテ	ポリパテ	-
表面研磨	#180 サンドペーパー					グラインダー (突起部分) #180 サンドペーパー (平面部分)	-
表面清掃	アルコール						
	ラッカーシンナー						
プライマー 処理	アイカアイボン RQ-900P(原液) アイカ水性プライマーRA-910(水で 3～4 倍に希釈)						-

※1 ポリエステル板、アクリル板はアウトガスによってフクレが生じる恐れがあるのでご注意ください。

※2 直射日光が当たる環境や温度変化の激しい環境ではガラスが熱割れを起こす恐れがありますので、ご注意ください。

施工時の注意事項

- ジョイント部の重ね貼り部分はサンディングを行い、弊社推奨プライマーを塗布し、十分な圧縮を行ってください。
- 2枚貼り以上で施工した場合、不燃材料とはなりません。
- オルティノHDは特殊表面加工のため、折れ目・皺によりその部分が白化する恐れがあります。
- 3次元曲面への施工をしないでください。
- ドライヤー等で温度をかけながら引き伸ばすと色調や柄を損なう恐れがあります。
- 有機溶剤が表面に付着すると艶変化などの不具合が生じる恐れがあります。
- プライマーが表面に付着しないようご注意ください。
- 傷防止のため、圧着の際はスキージーに柔らかい布やフェルトを巻き施工することをお奨めします。

アイカ工業株式会社

建装・建材カンパニー

ホームページアドレス

<http://www.aica.co.jp/>



●商品のお問い合わせ先

アイカ問合せセンター

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

☎<0120>525-100 TEL <052>409-8313 FAX <052>409-1482